

特集 日本自動車査定協会 創立60周年

公正な下取り価格確立に尽力して60年 健全な中古車流通に貢献



300人強が集まり、記念式典。創立60周年記念式典は7月23日に品川プリンスホテル(東京都港区)で開いた。業界関係者ら300人強が集まり、協会もその役割は大きい。

来賓として出席した経済産業省の伊吹英明製造産業局長は「査定制度の普及に加え、適切な中古車取引に関する情報発信にも熱心に取り組む、中古車市場の健全化に大きく貢献してきた」と協会の歩みを評価。また、1991年から継続的に開催している「中古自動車査定士技能コンテスト全国大会」についても「査定士の能力が国内全体で高まる素晴らしい取り組みだ」と称賛した。

「消費者保護」でも大きな役割

日本自動車査定協会(大井篤理事長)は今夏、創立60周年を記念した式典を催した。設立以来、中古自動車査定制度の普及を通じ、公正な下取り価格の確立に尽力。中古車流通の秩序の維持に大きく貢献してきた。協会にとって節

目となる式典は、同協会が長年にわたり中古車流通の健全な発展を支えてきた歩みを振り返るとともに、その重要性を再認識する機会となった。

の節目を祝した。自動車ユーザーにとって大切な資産である中古車。査定制度はその価値を適切に評価し、健全な流通を促すための仕組みだ。消費者保護の観点でもその役割は大きい。

において大きな役割を果たしている」と語った。自動車流通業界から拡大を見据えた中での船出だった。その後、市場の健全な成長を半世紀以上続けて振り返る機会となった。

上をわたり支えてきた。式典は協会の功績を改めて振り返る機会となった。会場では、これまでの歩みを振り返る動画を放映。出席者は思い出話に花が咲いた。



祝辞を述べる国土交通省物流・自動車局の猪股博之次長

技能コンでは査定士レベル引き上げ

車両の複雑化で高まる重要性。日本自動車査定協会は1966年に設立された。当時、自動車の大衆



祝辞を述べる経済産業省の伊吹製造産業局長(当時)

古車業界の未来に向いている。先進安全装備の充実や車の電動化が進み、車両がより複雑になっている。査定の難易度が上昇し、価値を適切に評価する査定士の重要性も年々高まっている。伊吹局長も「今後、その役割はますます大事になる」と協会のさらなる活躍を期待した。

3年ぶりの査定士技能コンテスト

「中古自動車査定士にとってこれ以上の賞は無いので、これを誇りにしていきたいです。これからはこの経験を後輩に伝えていくことも重視したいです。技術であったり、知識であったりを後輩に教えていきます。査定は本当に大事な業務だということを広めていきたいです」

入賞者は次の通り(カッコ内は所属会社)。
優秀査定士賞＝粉川剛(日産サティオ新潟)、一戸貴洋(ウエイズトヨタ神奈川)、新井祐弥(群馬トヨタ)、西山昂宏(ホンダ四輪販売三重北)、加藤淳一(埼玉トヨタ)▽優良査定士賞＝田澤匠(青森トヨペット)、古川稔(千葉マツダ)、相澤大(ネットトヨタ仙台)、黒羽健(ネットトヨタ茨城)、高木理行(福岡トヨペット)、大峠和也(山口ダイハツ)、村田直通(秋田ダイハツ)、庄谷怜真(ホンダ自販タナカ)、北村考史(滋賀ホンダ)、照屋寛侑(琉球ダイハツ)

大井篤理事長

国内の中古車流通が本格的に発展していく中で、当協会は適正な中古自動車査定制度の普及や査定士の技術力向上に特化し、中立的な立場から公正な中古車取引の健全化を支える役割を果たしてきた。中古車は一



台一台が異なる商品だ。その価値を適切に評価することは、消費者の利益を守ることもであり、販売店などの信頼を得る上でも非常に重要な役割を担っている。

いま、査定士は全国に13万人いる。この方々が現場で積み重ねてきた努力が中古車流通の信頼を支えてき

た。一方、60年の間に自動車流通を取り巻く環境は大きく変わった。特に近年は中古車オークションの拡大や海外需要の高まりによって、流通構造や価格形成の

変化が求められている。こうした時代の要請に適切に対応するため、この60年を機に査定制度のさらなる信頼性向上と販売店の業務効率の改善を目的として、現状の中古車市場の特性に応じた査定基準の見直しの検討を進めた

進化 次代へつなぐ

あり方が大きく変化した。取引のスピードも以前にも増して速くなり、市場価格も日々変動する時代となった。このような環境の中で査定制度も時代に即した進化が求められている。こうした時代の要請に適切に対応するため、この60年を機に査定制度のさらなる信頼性向上と販売店の業務効率の改善を目的として、現状の中古車市場の特性に応じた査定基準の見直しの検討を進めた

受賞を誇りに経験を後輩に

最優秀賞を獲得

ダイハツ 猪野 翔太さんに聞く

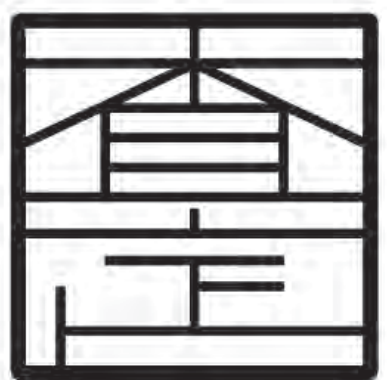
日本自動車査定協会(大井篤理事長)は7月23日、東京都港区で「第11回中古自動車査定士技能コンテスト全国大会―創立60周年記念―」を開いた。第11回大会は協会の創立60周年記念事業として、実施は3年ぶり。地区予選を勝ち抜いた52選手が査定の技術や知識を競い合った結果、兵庫ダイハツの猪野翔太選手が最優秀査定士賞を獲得した。猪野選手へのインタビューは次の通り。



「実車査定では小さな傷やへこみを見逃さないように心掛けた。車両に対して間違った判断を下さないように細心の注意も払いました。競技車両2台のうち、国産車は7、8割の点数を取れたとみています」
—今回の受賞を今後どう生かしていきますか

一競技の手応えは「終了直後は手応えがあまりありませんでした。緊張もあり、思った通りに査定をできていたのかという不安もありました。表彰式も優良査定士賞をいただければいいなという気持ちで臨みました。このため、最優秀査定士賞の受賞は本当にうれしかったです」
一競技時に重視したことは

日本自動車査定協会の公式 YouTube チャンネル公開中！



査定士
CHANNEL



- 業務案内
- 査定のポイント解説
- 中古車購入時に気を付けること

「査定士チャンネル」では、日本自動車査定協会の業務案内や査定のポイントを確認できる動画、中古車の購入を検討するユーザー向けの動画などを配信しています。役立つコンテンツが充実していますので、ぜひチェックしてください！

第11回中古自動車査定士技能コンテスト 全国大会「特設ページ」のご案内

日本自動車査定協会のホームページにて、全国大会の様態を公開しています。ハイライト動画もごございますので、ぜひご視聴ください。

